

福岡の未来を先導するアイランドシティへ “Future’s Initiative and Challenge”

【アイランドシティの全体テーマ】

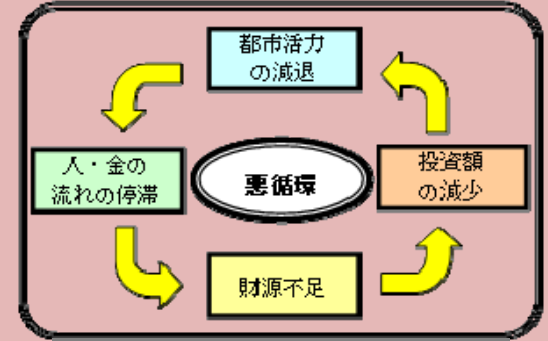
“洗練されたアジア”

【市民の夢と希望を叶えるアイランドシティの未来像】

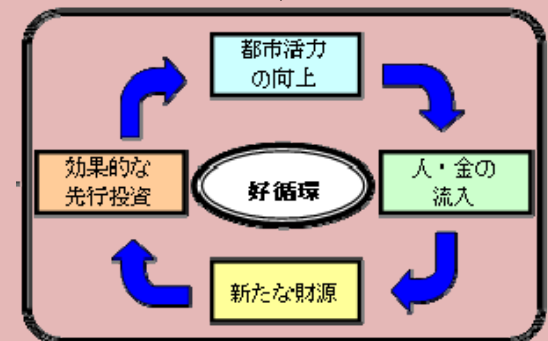
- 【未来像Ⅰ】アジアの成長・活力を取り込み、**アジア・世界とつながる拠点**
- 【未来像Ⅱ】知的活動が集積し、国際的に活躍する**人材育成の場**
- 【未来像Ⅲ】おしゃれで文化的なライフスタイルを創り出す**美しいまちなみ景観**
- 【未来像Ⅳ】便利な公共交通システムで移動がしやすく、**安全で安心して暮らせる生活環境**
- 【未来像Ⅴ】高度な医療に支えられスポーツやレクリエーションを楽しんで暮らす**「健康未来都市」**
- 【未来像Ⅵ】博多湾の豊かな自然との共生や創エネ・省エネを推進する**「スマートコミュニティ」**
- 【未来像Ⅶ】様々な人が集い、地域の主体的な活動が盛んで**活気に溢れた街**

【アイランドシティの希望ある「未来」を創る基本的考え方】

(1) 次世代の資産を創り、活かす「好循環」への転換



転換



- (2) 好循環を生み出す「エンジン」としてアイランドシティを位置づける
- (3) アイランドシティの「強み」を活かす
- (4) 「民の力」を積極的に引き出す

【未来像の実現に向けた方針】

- 【方針Ⅰ】21世紀の展望と福岡の将来を見据えたアイランドシティの「**位置づけ**」を明確にする
- 【方針Ⅱ】個性的な魅力をかたちづくる「**先導的テーマ**」に基づき街の骨格を形成する
- 【方針Ⅲ】港湾・物流機能が核となり都市活力を生み出す「**複合用途**」で街区・地区を構成する
- 【方針Ⅳ】住みたくなる都市の「**ブランド化**」を目指し、ICならではの環境価値を持つ街を育てる

【方針に基づく戦略と施策】

【戦略Ⅰ】

企業等のニーズに応じた**土地利用促進策**の投入により民間開発を誘導する

【具体的な方策】 ★は戦略として特に効果があり重要

《短期的》

- ★アイランドシティの強みを活かすための立地交付金・補助金の拡充
- ★事業用定期借地の導入
- ★5工区全体を対象にした一括公募等の総合的開発方式の導入
- ☆土地購入にあたっての分割払いの導入
- ☆固定資産税などの税制・金融面での優遇
- ☆特区制度の活用を視野に入れた規制緩和

《中長期的》

- ☆フリーゾーン等の付加価値を備えた物流エリアなどの設定

【戦略Ⅲ】

みなとづくりとまちづくりの融合とプロジェクト相互の**相乗効果**を図る

【具体的な方策】 ★は戦略として特に効果があり重要

《短期的》

- ☆学校の授業等として港の見学会などを行う。
- ☆港の見学エリアや情報発信拠点などを設ける。

《中長期的》

- ★青果市場を中心として、**場外市場・マルシェ・グルメタウン**を併設した**フードパーク**を設置する。
- ☆みなとづくりエリアを複合地区・街区とすることを可能とする用途・規制の見直しを行う。

【戦略Ⅱ】

効果的な公共投資により都市の建設を積極的に先導する

【具体的な方策】 ★は戦略として特に効果があり重要

《短期的》

- ★環境・エネルギー、健康・スポーツ・文化関連の核となる公共施設（スポーツ施設等）の整備
- ★メディア・デジタルコンテンツ等の国際情報受発信、制作、流通機能をもった新しい核となる施設の設置
- ★幹線道路及び自動車専用道路（都市高速道路）の延伸の早期整備
- ★新たな公共交通（BRT・LRT・電気バス等）の導入
- ☆バス営業所の誘致等によるバスの増便
- ☆野鳥公園の早期着手
- ☆インターナショナル中・高校等の国際教育機関の設置
- ☆国際的な人材育成を担う大学等の誘致と学習・滞在機能を持つ施設の設置
- ☆国際コンテナターミナルDバースの早期整備

《中長期的》

- ☆学術・産業・文化交流の拠点やデータセンター機能を持つコンベンションセンターの設置

【戦略Ⅳ】

公・民・学連携拠点の設置と組織的活動により生き生きした街をデザインする

【具体的な方策】 ★は戦略として特に効果があり重要

《短期的》

- ★情報発信と地域主体のまちづくり拠点（アーバンデザインセンター）の設置と組織化
- ☆地域住民が参画したまちづくりとしての道路、公園等のネーミング
- ☆イベント型のソフトコンテンツや地域活動による地域の活性化
- ☆地元大学と連携した社会実験の実施
- ☆地域団体の設立・活動支援



●公・民・学連携の概念